

2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月28日

上場会社名 株式会社モブキャストホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3664 URL <https://mobcast.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪 考樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 佐武 利治 (TEL) 03-5414-6830
 四半期報告書提出予定日 2020年5月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,047	41.9	△253	—	△285	—	△228	—
2019年12月期第1四半期	1,442	△11.2	△199	—	△215	—	△182	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △228百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 △184百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△9.41	—
2019年12月期第1四半期	△9.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,910	523	7.40
2019年12月期	6,941	685	9.78

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 511百万円 2019年12月期 678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年12月期の配当予想につきましては、現在未定です。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大と緊急事態宣言により当社グループ(当社および当社の連結子会社)をとりまく外部環境が期初と異なる状況となっております。現時点で同感染症による業績への影響を合理的に見積もることが難しいことから業績予想を未定とし、今後業績予想の算出が可能となったタイミングで速やかに開示致します。2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大と緊急事態宣言により当社グループ(当社および当社の連結子会社)をとりまく外部環境が期初と異なる状況となっております。現時点で同感染症による業績への影響を合理的に見積もることが難しいことから業績予想を未定とし、今後業績予想の算出が可能となったタイミングで速やかに開示致します。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	24,718,308株	2019年12月期	24,008,308株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	ー株	2019年12月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	24,250,176株	2019年12月期1Q	18,861,569株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において当社は、前連結会計年度に引き続き、各社ごとにおける戦略に沿って、売上、利益の拡大を図るとともに、エンターテインメント分野における新たな事業領域への拡大を目指し新規の投資案件を継続して探しております。

モバイルゲーム事業

モバイルゲーム事業につきましては、2019年11月に当社の子会社であるモブキャストゲームス（以下、「モブキャストゲームス」）が株式会社ゲームゲート（以下、「ゲームゲート」）の全株式を取得し、完全子会社（当社の孫会社）とし、その後、2020年1月1日を効力発生日としてモブキャストゲームスを存続会社とし、ゲームゲートを吸収合併しております。今後は、旧モブキャストゲームス、旧ゲームゲートの国内外のネットワーク等を生かし、ゲームゲートの得意分野であるアニメ等のニッチIP分野でのゲームを中心としたデジタルコンテンツのプロデュースを戦略の軸として進めてまいります。その一環として、旧モブキャストゲームスで配信していたスポーツタイトルの一部を2020年3月31日付で株式会社オルトプラスへ譲渡致しました。

当第1四半期連結累計期間においては、2018年2月より配信を開始している「キングダム乱-天下統一への道-」の2周年イベント等を含めた活性化施策等を行いました。サッカータイトルにつきましては、ゲーム運営、ゲーム内イベントの開発等を行っている中国Capstone社において、中国の新型コロナウイルス感染症による社員の自宅待機によりゲーム内施策の開発遅れによる新商材が投入できない等があったものの、吸収合併を行ったゲームゲートの「転生したらスライムだった件～魔国連邦創世記（ロードオブテンペスト）～」をはじめとする売上が加わったことから、売上高は881,138千円（前年同四半期の売上高は864,227千円）となりました。また、売上の増加による売上総利益の増加に加え、コストについては、前連結会計年度より従来のモブキャストゲームスにおいて進めていたコストの変動費化による固定費削減も相まって、営業利益は1,106千円（前年同四半期は営業損失34,413千円）となりました。

モータースポーツ事業

モータースポーツ事業につきましては、広告収益および事業収益を目的とした年間スポンサー契約の獲得、およびレース参戦車両の技術開発により自動車用品への技術転用や商品開発に必要なデータやノウハウの蓄積のため、国内の主要な自動車レースカテゴリーに参戦しております。当第1四半期連結累計期間は、前連結会計年度に引き続き、自動車レースでの上位入賞がもたらす常勝チーム「トムス」のプレゼンスの維持向上により、トムスブランド製品の品質をアピールし、商品開発車種の増加と海外販売及びネット販売等による販路拡大の基盤づくりを行っております。

世界最高水準のハイパフォーマンスカー特別限定車「TOM'S SUPRA」と「TOM'S CENTURY」を同時発表し、取り扱い店舗数の拡大に努めてまいりました。売上につきましては、国内主要レースが第2四半期連結会計期間以降に開催予定となるため、広告収益の計上もそれにあわせて当第2四半期連結会計期間以降となる見込みであり、自動車用品販売は、新規の自動車パーツの発売を開始する等により新規売上需要を開拓しております。これらの取組により、当第1四半期連結累計期間において、売上高は520,167千円（前年同四半期は売上高561,319千円）、営業損失は95,412千円（前年同四半期は営業損失39,410千円）となりました。

また、モータースポーツ事業についても、自動車用品販売における商品数及び販売ルートの拡大に加え、引き続きシナジーの見込める相手先との資本業務提携を図ることによる売上の拡大を目指しております。

キッチン雑貨事業

キッチン雑貨事業を営む株式会社ゆとりの空間（以下、「ゆとりの空間」）は、雑誌やテレビなどメディアでなじみ深い料理研究家の栗原はるみ氏が暮らしを楽しむアイデアやライフスタイルを提案する生活雑貨ショップ「share with Kurihara harumi」とレストラン&カフェ「ゆとりの空間」をプロデュースし、オリジナルの食器やキッチン雑貨、調味料、インテリア小物、エプロン、ウェアなどを全国の百貨店、アウトレットなどで事業展開しています。当第1四半期連結累計期間においては、2月以降には新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出店している百貨店の要請により臨時休業・営業時間の短縮をする等、集客が減少したため、売上減少等となったものの、Eコマースの売上増加があったことから、売上高は642,649千円、営業損失は31,365千円となりました。

なお、キッチン雑貨事業につきましては、2019年12月期第4四半期連結会計期間から連結対象としたため、前年同四半期との比較につきましては記載を割愛しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、2,047,593千円（前年同四半期は売上高1,442,735千円）となりました。また、営業損失につきましては、253,123千円（前年同四半期は営業損失199,210千円）となりました。また、営業外収益として「為替差益」3,330千円等、営業外費用として「支払利息」20,848千円等を計上したことにより、経常損失は285,106千円（前年同四半期は経常損失215,540千円）となりました。さらに、ゲームタイトルの一部移管を伴う株式譲渡を行い、特別利益として「事業譲渡益」59,000千円等を計上した結果、税金等調整前四半期純損失は220,656千円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失214,072千円）、四半期純損失は228,284千円（前年同四半期は四半期純損失183,393千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は228,271千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失182,862千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より31,138千円減少し、6,910,569千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が79,146千円減少した一方、仕掛品が100,553千円、流動資産のその他に含まれる前払費用が27,084千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より131,371千円増加し、6,387,507千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が307,886千円減少した一方、未払金が174,855千円、流動負債のその他に含まれている前受収益が331,727千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より162,510千円減少し、523,061千円となりました。これは主に、資本金が50,963千円、資本剰余金が50,963千円増加し、利益剰余金が261,546千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループはこれまで培ってきた「モバイルインターネット領域におけるサービス開発および運営ノウハウの提供、ブランド資源の価値最大化のプロデュース及び経営支援を行うことで、グローバルでの事業成長を実現し、日本のエンターテインメント業界を革新させ、さらなる発展に貢献する」ことを重要な戦略と位置付けています。

2020年12月期においては、モバイルゲーム事業においては前連結会計年度に株式を取得しその後吸収合併を行ったゲームゲートのビジネスモデルを軸とした、ニッチIPのプロデュースをグローバルに展開してまいります。モータースポーツ事業については、強いレースチームとしてのトムの技術、2020年1月開催の東京モーターショーでリリースしたコンプリートカーを軸に自動車用品販売の拡大を図ってまいります。また、キッチン雑貨事業については、既存店舗の見直し及びEコマースによる販売強化、新たな形態での出店を想定しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発令による外出の自粛等により、モバイルゲーム事業においては、巣ごもり消費によるスマホゲーム需要の増加がある一方で、原作アニメの製作遅延と配信時期の変更に伴う新規ゲームタイトルの配信時期の変更や原作アニメに合わせた配信中ゲームタイトルの売上増加施策の時期の変更が発生することが想定されます。モータースポーツ事業においてはイベントの延期、中止によるレース開催日程の延期、また、キッチン雑貨事業においては、巣ごもり需要によるEコマース売上が増加しているものの、出店をしている百貨店、小売店舗の休業等による販売機会が減少するなど、期初に業績予想を策定した時点と当社を取り巻く外部環境が大きく変化しております。また、緊急事態宣言が解除されたもののすぐに経済活動や人々の消費行動が以前と同じ状況に戻るかを見通すことが困難な状況であることから、当社グループにおける業績への影響額についても現時点で合理的に見積もることが難しいため、当期の業績予想につきまして未定とさせていただきます。今後、業績予想の算出が可能となったタイミングで改めて策定し速やかに開示致します。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

継続企業の前提に関する重要事象等を解消するための対応策等

当社グループは2015年12月期より、5期連続して営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しております。その要因は、グループ全体としてのコストは、ほぼ変わっていないものの、モータースポーツ事業が営業損失を計上したことに加え、前第4四半期連結累計期間より連結を開始いたしました株式会社ゆとりの空間が営むキッチン雑貨事業において新型コロナウイルス感染症の影響等により営業損失を計上したことから、営業損失を計上いたしました。

このことから、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。しかしながら、その対策として、モバイルゲーム事業につきましては、2020年1月に当社の連結子会社である株式会社モブキャストゲームスが株式会社ゲームゲート（以下、「ゲームゲート」）を吸収合併して、ゲームゲートが得意とするニッチIPのコンテンツプロデュースに戦略を寄せ、ローリスクミドルリターンモデルへと転換し、モバイルゲーム事業の中で今後の戦略より外れていたスポーツタイトルの一部を子会社として設立した株式会社モブキャストプラスへ承継し、その全株式を2020年3月31日をもって株式会社オルトプラスへ売却したことに加え、人件費、その他費用を抑制し、固定費についても減少しており、前年同時期に比べ収益性は大きく改善しております。また、モータースポーツ事業におきましても自動車用品販売の売上増加と全般的なコストコントロールに引き続き注力しており、収益化する予定であります。

さらに、2020年3月25日に株式会社SBI証券に対して発行した新株予約権の行使が同月より開始されていることから、財務基盤は一定の安定化が図られております。

これらの結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	988,246	980,718
受取手形及び売掛金	1,161,145	1,081,999
商品及び製品	506,530	516,578
仕掛品	99,286	199,839
原材料及び貯蔵品	50,560	51,020
その他	378,891	374,354
貸倒引当金	△11	△15
流動資産合計	3,184,650	3,204,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	726,681	728,351
減価償却累計額	△373,744	△375,484
建物及び構築物(純額)	352,936	352,866
機械装置及び運搬具	701,962	711,807
減価償却累計額	△511,700	△518,444
機械装置及び運搬具(純額)	190,262	193,363
工具、器具及び備品	413,253	432,406
減価償却累計額	△356,956	△366,865
工具、器具及び備品(純額)	56,297	65,540
土地	1,311,000	1,311,000
建設仮勘定	25,312	33,737
その他	67,284	67,284
減価償却累計額	△53,428	△54,229
その他(純額)	13,855	13,054
有形固定資産合計	1,949,664	1,969,562
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	94,811	94,811
のれん	855,060	832,329
その他	9,584	10,030
無形固定資産合計	959,456	937,171
投資その他の資産		
投資有価証券	304,844	255,217
その他	549,392	550,422
貸倒引当金	△6,300	△6,300
投資その他の資産合計	847,937	799,339
固定資産合計	3,757,058	3,706,073
資産合計	6,941,708	6,910,569

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	894,938	587,051
短期借入金	883,000	960,000
1年内償還予定の社債	110,400	104,400
1年内返済予定の長期借入金	533,794	498,091
未払金	987,920	1,162,775
未払法人税等	15,475	2,512
賞与引当金	2,104	20,102
その他	580,960	919,647
流動負債合計	4,008,593	4,254,581
固定負債		
社債	162,000	114,800
長期借入金	1,873,018	1,793,623
繰延税金負債	107,537	107,537
退職給付に係る負債	77,663	78,420
その他	27,323	38,544
固定負債合計	2,247,543	2,132,926
負債合計	6,256,136	6,387,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,023,436	3,074,399
資本剰余金	1,646,771	1,697,735
利益剰余金	△3,998,887	△4,260,433
株主資本合計	671,320	511,701
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,534	—
その他の包括利益累計額合計	7,534	—
新株予約権	2,885	7,540
非支配株主持分	3,832	3,820
純資産合計	685,572	523,061
負債純資産合計	6,941,708	6,910,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,442,735	2,047,593
売上原価	1,043,638	1,327,051
売上総利益	399,096	720,542
販売費及び一般管理費	598,307	973,666
営業損失(△)	△199,210	△253,123
営業外収益		
受取利息	876	325
為替差益	—	3,330
受取賃貸料	—	1,745
雑収入	1,086	3,214
営業外収益合計	1,963	8,615
営業外費用		
支払利息	5,188	20,848
為替差損	8,414	—
株式交付費	358	169
持分法による投資損失	3,699	8,810
その他	631	10,769
営業外費用合計	18,292	40,597
経常損失(△)	△215,540	△285,106
特別利益		
事業譲渡益	—	59,000
固定資産処分益	1,468	7,513
特別利益合計	1,468	66,513
特別損失		
固定資産除却損	—	2,064
特別損失合計	—	2,064
税金等調整前四半期純損失(△)	△214,072	△220,656
法人税、住民税及び事業税	3,028	7,627
法人税等調整額	△33,707	—
法人税等合計	△30,678	7,627
四半期純損失(△)	△183,393	△228,284
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△530	△12
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△182,862	△228,271

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△183,393	△228,284
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,502	—
その他の包括利益合計	△1,502	—
四半期包括利益	△184,895	△228,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△184,364	△228,271
非支配株主に係る四半期包括利益	△530	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であったEnhance Experience Inc.は、重要性が低下したため、持分法の適用範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	モバイルゲ ーム事業	モータース ポーツ事業	キッチン 雑貨事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	863,187	561,319	—	1,424,507	18,228	1,442,735	—	1,442,735
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	1,040	—	—	1,040	—	1,040	△1,040	—
計	864,227	561,319	—	1,425,547	18,228	1,443,775	△1,040	1,442,735
セグメント損失 (△)	△34,413	△39,410	—	△73,823	△17,437	△91,260	△107,950	△199,210

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ等の取得及び再生事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△107,950千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	モバイルゲ ーム事業	モータース ポーツ事業	キッチン 雑貨事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	881,138	520,167	642,614	2,043,920	3,673	2,047,593	—	2,047,593
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	35	35	—	35	△35	—
計	881,138	520,167	642,649	2,043,956	3,673	2,047,629	△35	2,047,593
セグメント利益 又は損失(△)	1,106	△95,412	△31,365	△125,670	530	△125,140	△127,983	△253,123

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ等の取得及び再生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△127,983千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(スマートフォンアプリの譲渡にともなう、当社グループ外への株式譲渡を前提として実施する会社分割及び当社グループ外への株式譲渡)

当社は、2020年3月31日に、2020年2月13日開催の取締役会において決議し、同日に締結した譲渡契約に基づいて、当社連結子会社の株式会社モブキャストゲームス(以下、「モブキャストゲームス」)が展開しているゲーム事業のうち、スマートフォン向けスポーツゲームに関する一部タイトル(以下、「対象タイトル」)を2020年2月13日に設立した当社の孫会社となる株式会社モブキャストプラス(以下、「モブキャストプラス」)に吸収分割の方式により承継させたいえで、モブキャストプラスの全株式を株式会社オルトプラス(以下、「オルトプラス社」)へ譲渡いたしました。

1. 共通支配下の取引等(当社グループ外への株式譲渡を前提として実施する会社分割)

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称

株式会社モブキャストゲームス

② 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 モバイルゲーム事業

事業の内容 スマートフォン向けゲームアプリ等の企画・開発・運営

③ 企業結合日

2020年3月31日

④ 企業結合の法的形式

株式会社モブキャストゲームスを分割会社とし、株式会社モブキャストプラスを承継会社とする吸収分割方式

⑤ 結合後企業の名称

株式会社モブキャストプラス(株式会社モブキャストゲームスの100%子会社)

⑥ 取引の目的を含む取引の概要

本会社分割は、事業分離を目的として実施するものです。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

2. 事業分離(当社グループ外への株式譲渡)

(1) 事業分離の概要

① 分離先企業の名称

株式会社オルトプラス

② 分離した事業の内容

子会社等の名称 株式会社モブキャストプラス(株式会社モブキャストゲームスの100%子会社)

事業の名称 モバイルゲーム事業

事業内容 スマートフォン向けゲームアプリ等の企画・開発・運営

③事業分離を行った主な理由

当社子会社のモブキャストゲームスはスポーツ及びアニメ等のIPを用いたゲームを国内外のパートナーと共同開発し、ゲームのグローバル配信を行っております。しかしながら、グローバルゲーム市場で売れるゲームを開発するための開発費の高騰など、スマホゲーム市場がレッドオーシャン化する中、赤字が継続しております。そのような中、モブキャストゲームスの収益改善のため同社とシナジーのある企業との資本業務提携の検討を進め、厳選したIPをゲーム事業と共に育てていく事業モデルである株式会社ゲームゲート（以下、「ゲームゲート」という）の全株式を2019年11月に取得し、さらに、2020年1月にモブキャストゲームスを存続会社、ゲームゲートを消滅会社とした吸収合併をいたしました。

合併後のモブキャストゲームスにおいては、ゲームゲートの強みを生かしたアニメを中心としたニッチIPのプロデュースによるグローバル展開を戦略の中核とし、戦略に沿わない主にスポーツ系ゲームタイトルについてはゲームユーザー様への影響、社外関係先及び社内のリソース配分等をふまえ、他社への移管検討を進めており、今般、一部のスポーツタイトルについて、オルトプラス社へ譲渡することとなりました。

④事業分離日

2020年3月31日

⑤法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

(2) 実施した会計処理の概要

①移転損益の金額

事業譲渡益 59,000千円

②移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	2,048千円
固定資産	228千円
資産合計	2,277千円
流動負債	6,519千円
負債合計	6,519千円

③会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却金額との差額を事業譲渡益として特別利益に計上しております。

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメント

モバイルゲーム事業

(4) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	281,416千円
売上総利益	95,637千円

※売上総利益は販売費及び一般管理費、タイトルに帰属しない全社費用配賦前の数字となります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。